



「2030年問題」を乗り越える学力を身に付けるために！

教務主任 城寺 賢二



「2030年問題」という言葉を聞いたことはありますか。2030年はちょうど今の4年生が20歳になるころです。この問題は、少子高齢化・人口減少・年金問題が、今よりも、さらに深刻化していると予想されることです。具体的には、日本の総人口の約3分の1が高齢者になり、生産年齢人口（労働者人口）が減少し、過疎地域が増加することです。

また、ある報告書では「2030年頃には日本の現在の労働人口の49%がAIやロボットに変わる可能性が高い」と予測しています。

今の小学生は大人になった時、そのような社会を生き抜いていかなければなりません。このような変化の激しい時代を主体的に生き抜く力、未知の状況にも対応していく力を身に付けていくために、教育も大きく変わってきています。

これまではペーパーテストで評価がしやすい知識及び技能の習得に重点が置かれ、評価の対象として重要視されてきました。

しかし、これからの新しい時代は「知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」や「自分から進んで学びに向かう力」を身に付けていくことが特に重要視されています。そして、これらの資質・能力は、これまでの教師が教え込むスタイルの学習やドリル学習では身に付けることが難しいと言われています。

そこで本校では今年度は思考力・判断力・表現力を育むために「複数時間設定の問題解決的な学習、NIE（新聞を活用した学習）の推進」、自分から進んで学びに向かう力を身に付けていくために「家庭学習の取り組み方の改善」に取り組んでいます。

問題解決的な学習、NIE（新聞を使った学習）の実践



1年生 国語科「うみのかくれんぼ」

タブレットPCで動画を見たり、黒板の写真を見たりしながら、事柄の順序に沿って、構成を考えながらカードにまとめる力を身に付けています。

思考力・判断力・表現力を育むために、全学級で学期に1度は「問題解決的な学習」を行い、「調べる・まとめる・伝える」活動を充実させたり、「読むこと」「書くこと」の力が向上するように、NIE（新聞を使った学習）に取り組んだりしています。

このような授業を実践していくことで、子供たちがこれまで以上に進んで問題解決に取り組む、その過程で解決方法も学んでいくことができると考えています。

また、この取組を継続していくことで、自分なりの方法で問題を解決する力が身に付き、学校を卒業してからも学び続ける意欲をもった子供たちになるのではないかと考えています。そして、社会に出てからも与えられた仕事を黙々とこなす粘り強さだけでなく、自分から仕事（課題）を見付けられる大人になってもらいたいと考えています。



5年生 理科「天気を予想しよう」

新聞の気象情報や災害の記事を基に、気象変化や被害予想、今後取るべき避難行動について自分の考えを表現する力を身に付けています。

家庭学習・自学ノートの取り組み方の改善



例年、6年生が実施している全国学力学習状況調査の質問紙調査より、本校の学習の取り組み状況の傾向が分かってきました。（今年度は全国一斉の実施はしていませんので、全国平均との比較はありませんが過去3年間の全国平均及び本校のデータと比較して考察しています。）

（全国平均と比較して肯定的な回答の割合が高い）

- 授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいると思う。
- 授業では、学級やグループの中で、自分で課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して発表するなどの学習活動に取り組んでいると思う。

（全国平均と比較して回答の割合に差がある）

- 学校の授業時間以外に、勉強をする時間が少ない。（塾、習い事の時間も含む）
- 家では、自分で計画を立てて勉強している子供が少ない。
- 将来の夢や目標をもっている子供が少ない。
- ものごとを最後までやり遂げて、うれしかった経験のある子供が少ない。

調査の結果、学校の授業では、課題解決に向けて自分で考えて取り組んでいると感じている子供は多いが、家庭では自分で計画を立てて学習に取り組んでいると感じている子供が少ないということが分かりました。

また、学校以外での学習時間（習い事や塾も含む）が全国平均と比較して短い傾向にあることも明らかとなりました。

そこで、問題解決的な授業の推進と共に家庭学習の取り組み方も見直していきたいと考えています。家庭学習には目的が大きく二つあると思います。一つ目は「学力の向上」のため、二つ目は「粘り強く学習に取り組む力の育成」のためです。その二つの目的を達成するために、本校では、毎日「学年×10分（1年生は20分）」を家庭学習の目標時間として担任から宿題を出しています。そして、各学年で出される宿題の内容は主に次の二つです。一つ目は担任から出される「ドリルを中心とした課題」、二つ目は自分で課題を決めて取り組む「こつこつノート」です。



「こつこつノート」を宿題にする理由は、担任が一律に出す宿題はAさんにとっては10分で終わる、けれどもBさんにとっては20分かかるなど、一人一人の実態に合わないこともあります。そこで、実態に応じて家庭学習に取り組めるように「こつこつノート」に全校で取り組んでいます。ただ、子供たちの中には「何をしたらよいか分からない。とりあえず漢字の練習をするか…」という子供も多数いるようです。

しかし、これからの時代を生き抜く子供たちが進んで取り組めるような家庭学習にするためには、与えられた課題だけではなく、自分で課題を見付けられるようにしたいのです。また、こつこつノートの取組を通して、自信がもてるようにしたいと思います。

そこで、これからのこつこつノートは自分から進んで、自分に必要な学習を考え、自分の興味に沿って家庭学習に取り組んでほしいです。「何をやったらいいかわからない」「やりなさいと言われないとやらない」という子供ではなく、興味のあること、気になること、頑張りたいこと、苦手なこと等、自分で計画を立てて学んでいってほしいです。そして、自分の個性を伸ばし、自分の未来を切り開いていく力を身に付けてほしいです。保護者の皆様にも家庭での温かい声かけや取組についてのご意見をいただくなど、ご協力をお願いします。

(ノート展の様子)



下級生が上級生の「こつこつノート」を見学し、先輩たちの取組のよいところを真似して取り組むことで、学習意欲が向上すると共に、学習内容も広がっていきます。

(4年生の感想)

- ・自分で作った料理のレシピが絵と文章で分かりやすくまとめられていてよかったです。
- ・算数や社会でまちがえたものを「こつこつノート」で復習していてすごいと思いました。
- ・ていねいな文字で、ノートにびっしり書いてあって、すごいと思いました。
- ・トリックアートを自分で書いていたので、自分も挑戦してみたいと思いました。

東海市立立身小学校
【保護者向けリフレット】

家庭学習の手引き (保存版)

家庭学習は、どれだけすればよいの？

・学校で設定している学習時間は、1・2年生は20分、3年生以上は、【10分】が標準です。目標時間以上で学習したり、宿題の存在を本人が覚えることで自分の力を伸ばすことができます。年生が上がるにつれて、目標時間にならないと満足は「こつこつノート」の取組で徐々に声をかけてください。

子供の家庭学習に親はどう向き合っていけばいいのかな？

【準備】は毎学年のうちに
 ① 1年生 ② 2年生 ③ 3年生 ④ 4年生 ⑤ 5年生 ⑥ 6年生

【準備】は毎学年のうちに
 ① 1年生 ② 2年生 ③ 3年生 ④ 4年生 ⑤ 5年生 ⑥ 6年生

【準備】は毎学年のうちに
 ① 1年生 ② 2年生 ③ 3年生 ④ 4年生 ⑤ 5年生 ⑥ 6年生

【準備】は毎学年のうちに
 ① 1年生 ② 2年生 ③ 3年生 ④ 4年生 ⑤ 5年生 ⑥ 6年生

【準備】は毎学年のうちに
 ① 1年生 ② 2年生 ③ 3年生 ④ 4年生 ⑤ 5年生 ⑥ 6年生

「こつこつノート」の取組の例

【国語】新聞を使って
 【社会】興味の幅を広げて
 【算数】学習してみる
 【理科】コピーを活用して復習

【子供たちの取組の例】

【自分が学びたい課題に挑戦！】

【国語】新聞を使って
 【社会】興味の幅を広げて
 【算数】学習してみる
 【理科】コピーを活用して復習

【子供たちの取組の例】

【自分が学びたい課題に挑戦！】

11月のフリー参観日に配布しました「家庭学習の手引き&こつこつノートの取り組み例」はお持ちでしょうか。再度、ご覧になっていただき、できるところから取り組んでみてください。
 ※お手元にないようでしたら、担任にご連絡ください。



最後に、「AI(人工知能)」「超スマート社会(Society5.0)」等の言葉を最近よく耳にされると思います。これからの社会は科学の発展やグローバル化に伴い大きく変わろうとしています。そのため、「知識及び技能」だけではなく、答えの決まっていない課題、経験したことのない未知の事象にも対応できる「思考力・判断力・表現力」、そして学んだことを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力」の育成が大切になってきます。

「学校でできること」「家庭でできること」、それぞれ役割に違いはありますが、共に手を取り合い、協力・連携して未来を担う子供たちを大切に育てていきましょう。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



富山県知事表彰(環境功労)を受けました

富山県花と緑の祭典2020 第48回花と緑の大会が10月14日、富山県民会館で開催され、本校が環境部門県土美化分野緑化功労者(団体)として、県知事表彰を受けました。

この表彰は開校以前より引き継いで行われている「花とみどりの少年団」を中心とした緑化活動や環境保護活動を積極的に行ってきたことが評価されたものです。

今後も花壇やビオトープだけでなく、教室や地域でも花や動物を「愛でる」気持ちと行動を大切にしていきたいと思ひます。

今後



表彰状
環境功労
富山県知事 石井隆一

貴校は多年にわたり花と緑を愛する情熱の涵養に努めるとともに地域の緑化意識の高揚に努めるとともに県土美化の推進に寄与されましたその功績は誠に顕著でありますよって富山県表彰規則により表彰します

令和二年十月十四日
富山県知事 石井隆一

富山県知事 石井隆一



今はまだ幼虫だけど早くビオトープで飛び回ってみたいなあ

今後の予定

11月

- 16日(月) 避難訓練
- 17日(火) 地場産給食の日
- 18日(水) 就学時健康診断
- 21日(土) 幼小中美術展～23日(月)
- 25日(水) 学校保健委員会 5限下学年 6限上学年
- 29日(日) 冬期電車通学練習会



12月

- 1日(火) 冬期電車通学開始
- 3日(木) 個別懇談会(宇奈月地区、愛本地区、下立地区、朽屋地区)
- 4日(金) 個別懇談会(浦山地区)
- 24日(木) 給食最終日
- 25日(金) 2学期終業式